

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

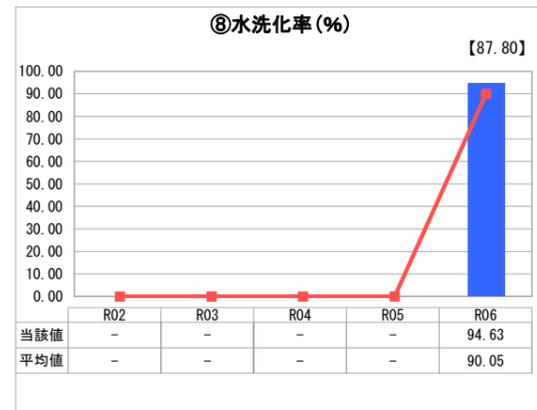
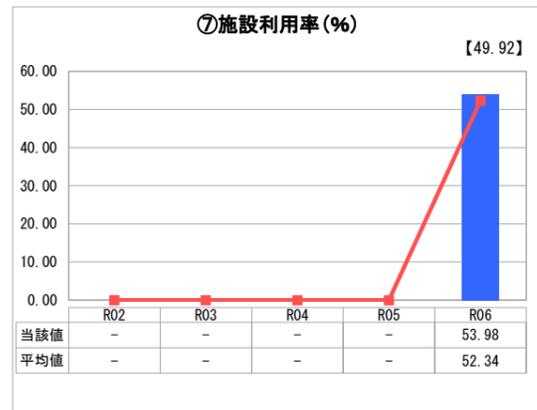
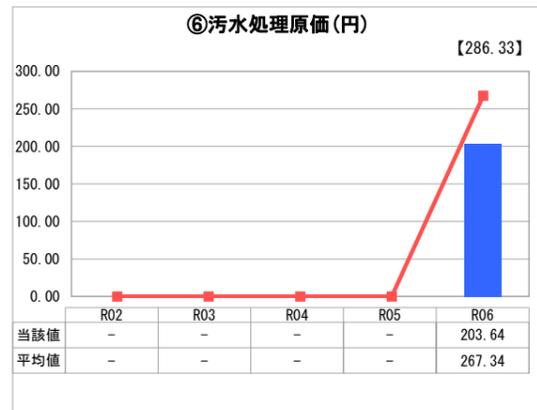
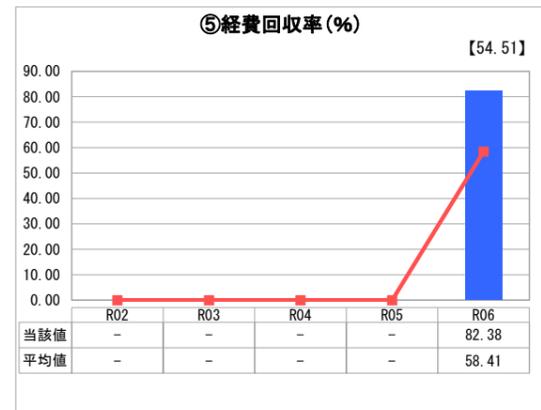
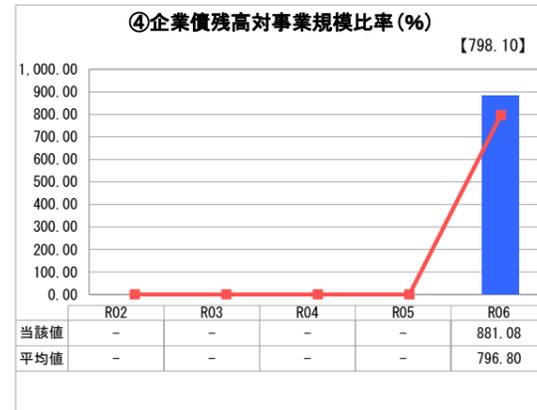
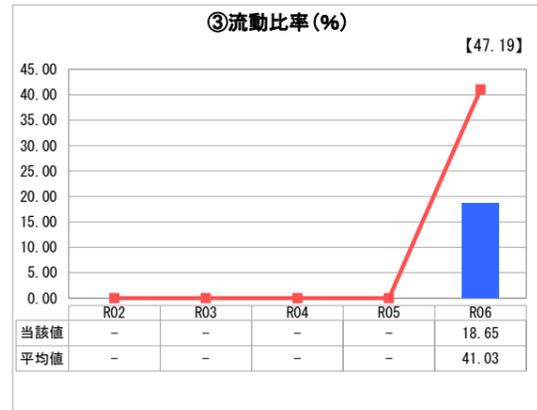
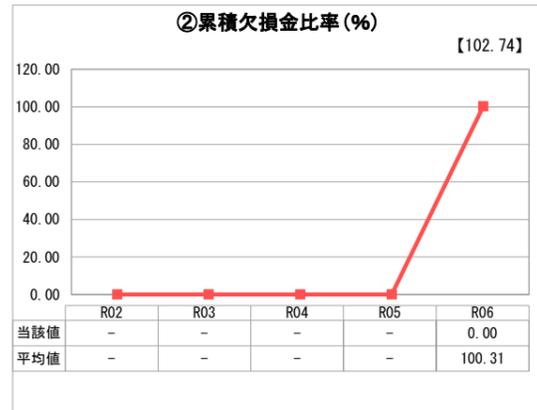
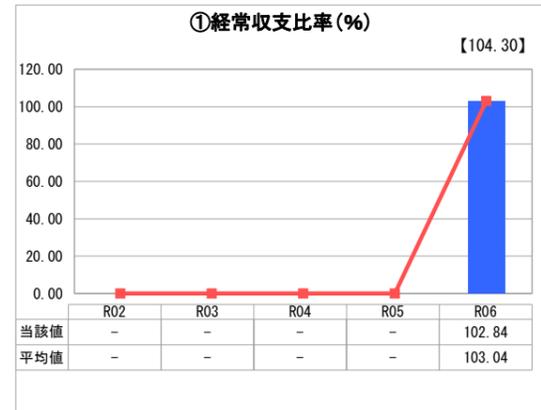
佐賀県 上峰町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	51.41	99.25	100.00	3,780

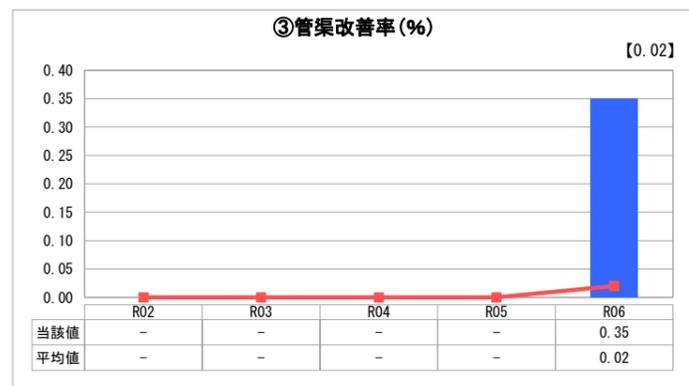
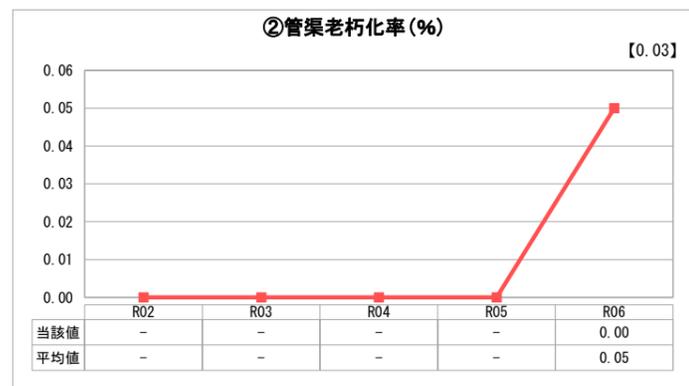
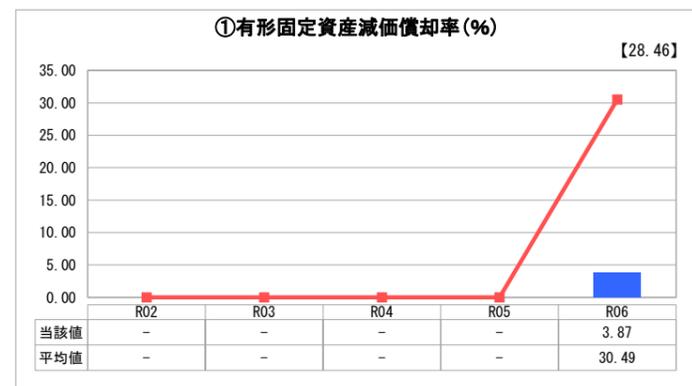
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,870	12.80	771.09
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,822	2.72	3,611.03

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を上回り黒字となっているが、一般会計繰入金を含んだ比率になっているため、今後も一般会計繰入金の削減に努める。累積欠損金は良好な状態である。流動比率は、類似団体平均値を大きく下回っているが、資本費平準化債の借入や一般会計からの出資等により企業債の償還に努めている。企業債残高対事業規模比率は、資本費平準化債の借入により企業債残高の減少が緩やかになっていることもあり、類似団体平均値を上回っている。資本費平準化債の借入に頼りすぎない企業債の償還が望まれる。また今後施設の老朽化による更新工事等のため、企業債残高が増えることが予測されるが、補助事業等を最大限活用し計画的に事業を実施することにより、企業債の借入額を最小限に留める必要がある。経費回収率は100%には達していないが、類似団体平均値を上回っている。人口増加や接続率の向上により使用料収入は増加傾向にあるものの、近年の物価高の影響により汚水維持管理費用が増加傾向にあるため、引き続き経費回収率の向上に努める。汚水処理原価は、類似団体平均を下回っているが、今後物価高騰による維持管理費の増加や施設の更新等により汚水処理費は増加することが見込まれる。

### 2. 老朽化の状況について

償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は、地方公営企業法の適用初年度であることから、3.87%と低い水準にある。供用開始より30年が経過する施設もあることから、上峰町農業集落排水施設最適整備構想に基づき、施設の老朽化対策を計画的に実施していく。

## 全体総括

全町的に下水道事業の整備は完了しており、今後は老朽化した処理施設及び管路施設の大規模な改善が必要となることが見込まれる。今後も安定的な使用料収入を維持しつつ、省エネ機器の導入を検討するなど、汚水処理費の削減に努める必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。